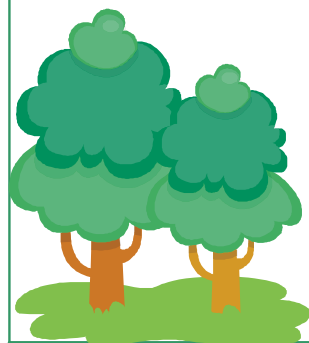


環境活動レポート

2012年度(2012年1月～2012年12月)

2013年 4月

株式会社 吉銘



— 目 次 —

1. 環境方針	P. 1
2. 事業活動の概要	P. 2
3. 環境目標と活動の実績	P. 3
・実績の経過グラフ(CO2、廃棄物量、総排水量)	P. 4
4. 環境目標の達成評価	P. 5
5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価	
5－1. 本社・新住工場の活動内容	P. 6
5－2. 田原本工場の活動内容	P. 7
5－3. 五條工場の活動内容	P. 8
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P. 9
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 9

1. 環境方針

< 基本理念 >

「大自然に感謝して、少しでも恩返しを」

< 行動指針 >

1. 大自然から受けた恩恵である木材を人間の知恵をもって最大限に余すことなく有効に利用し〈木を活かす企業〉として循環型の住みよい環境の実現を目指します。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境パフォーマンスを自主的・継続的に改善できるように推進します。
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・廃棄物排出量の削減
 - ・総排水量の削減
 - ・化学物質の適正使用について維持管理
 - ・グリーン購入の推進
 - ・環境に配慮した原材料の使用を推進
3. 環境教育・訓練・社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
4. 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守し、必要に応じて環境管理レベルの向上を図ります。

この環境方針は、社外の人にも公開します。

制定日 2005年 5月21日

改定日 2010年 1月27日

株式会社 吉銘

代表取締役社長 貝本 隆三

2. 事業活動の概要

①事業所名および代表者名

株式会社 吉銘
本社(管理本部・新住工場)、田原本工場、五條工場
代表取締役社長 貝本 隆三

②所在地

本社 奈良県吉野郡下市町大字新住1118
田原本工場 奈良県磯城郡田原本町大字味間436
五條工場 奈良県五條市島野町485番地

東京支店、札幌支店、福岡営業所、特販部(奈良県橿原市)は対象外です。

環境負荷の大きい製造工場については認証範囲を拡大しています。
今後、3年以内に全社に認証拡大の予定です。

③環境保全関係の責任者および担当者連絡先

環境経営責任者	代表取締役社長 貝本 隆三
EA管理責任者	本社 勝村 貴志
連絡先	TEL : 0747-52-4066
	FAX : 0747-52-4797
	E-mail : hinkan@yoshimei.co.jp

④事業規模(2011年度)

資本金	7200万円
年商 (全社)	99.10億円
主要製品生産量 (全社)	14384トン
	・本社・新住工場:3208トン
	・田原本工場:7944トン
	・五條工場:7565トン
従業員 (全社)	146名 (平成25年2月現在)
(サイト別)	・本社・新住工場:48名
	・田原本工場:39名
	・五條工場:40名
	・対象外サイト:19名
床面積	・本社・新住:13600m ²
	・田原本工場:5811m ²
	・五條工場:6337m ²

⑤事業内容

集成材の製造販売および住宅関連商品の販売

⑥沿革

昭和25年 4月	貝本商店の創業 (創業者、現取締役相談役 貝本 輝司)
昭和28年 4月	業界に先駆け集成材の製造販売開始(当社 元祖)
昭和40年 4月	吉野銘木製造販売(株)に法人組織化
昭和45年 1月	貝本木材工業(株)を新たに設立(株吉銘の前身)
昭和50年 6月	(株吉銘)に社名変更
昭和52年 7月	本社を橿原市に新築移転
昭和52年 9月	(株吉銘)福山を設立
昭和55年 9月	山陰営業所の開設
昭和58年 8月	福岡営業所の開設
昭和58年 9月	吉野郡大淀町に佐名伝工場を新設
昭和59年 10月	岡山営業所の開設
昭和61年 4月	吉野銘木製造販売(株)の集成材工場を製造部門として合併
昭和62年 3月	東京支店の開設
平成 2年 3月	資本金7200万円に増資
平成 5年 9月	全自動別注造材プレカットライン完成
平成 6年 2月	五條工場新設
平成 6年 9月	札幌営業所開設
平成 7年 2月	(株)東日本ウッドワークス中部設立
平成 9年 1月	桜井工場新設
平成12年 6月	ISO9002認証取得
平成14年 4月	田原本工場新設
平成15年 3月	貝本木業(上海)有限公司設立
平成15年 4月	ISO9001取得
平成16年 10月	本社を下市町新住に移転、製造部門と統合
平成18年 3月	本社(管理本部・新住工場)でエコアクション21の認証を取得
平成20年 3月	一部認証範囲を拡大(田原本工場および五條工場を追加)
平成25年 3月	認証範囲を全社に拡大申請中

3. 環境目標(計画)と活動の実績

環境目標(計画)の設定

①本社及び3工場合計

		2006年 (37期)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	2014年 (45期)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2/年)	2,048,626	1,464,062	1,419,090	1,392,482
			28. 5% 削減	30. 7% 削減	32. 0% 削減
廃棄物排出量	総量 (トン/年)	310	39.5	37.8	36.1
			87. 3% 削減	87. 8% 削減	88. 4% 削減
総排水量	総量 (m3/年)	19,869	10,512	10,221	9,929
			47. 1% 削減	48. 6% 削減	50. 0% 削減
化学物質	使用量(t/m3)		生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		9件以上	12件以上	15件以上
環境配慮製品	使用割合(%)		化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		

②本社・新住工場

		2006年 (37期)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	2014年 (45期)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2/年)	612,131	520,311	489,705	477,462
			15. 0% 削減	20. 0% 削減	22. 0% 削減
廃棄物排出量	総量 (トン/年)	24	19.2	18.96	18.72
			20. 0% 削減	21. 0% 削減	22. 0% 削減
総排水量	総量 (m3/年)	6,963	4317	4039	3760
			38. 0% 削減	42. 0% 削減	46. 0% 削減
化学物質	使用量(t/m3)		生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		3件以上	4件以上	5件以上
環境配慮製品	使用割合(%)		化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		

③田原本工場

		2006年 (37期)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	2014年 (45期)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2/年)	565,989	430,152	424,492	418,832
			24. 0% 削減	25. 0% 削減	26. 0% 削減
廃棄物排出量	総量 (トン/年)	283	16.98	15.57	14.15
			94. 0% 削減	94. 5% 削減	95. 0% 削減
総排水量	総量 (m3/年)	7,829	3296	3288	3280
			57. 9% 削減	58. 0% 削減	58. 1% 削減
化学物質	使用量(t/m3)		生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		3件以上	4件以上	5件以上
環境配慮製品	使用割合(%)		化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		

④五條工場

		2006年 (37期)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	2014年 (45期)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2/年)	870,506	513,599	504,893	496,188
			41. 0% 削減	42. 0% 削減	43. 0% 削減
廃棄物排出量	総量 (トン/年)		3.3	3.28	3.27
			0. 5% 削減	1. 0% 削減	1. 5% 削減
総排水量	総量 (m3/年)	5,077	2899	2894	2889
			42. 9% 削減	43. 0% 削減	43. 1% 削減
化学物質	使用量(t/m3)		生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		3件以上	4件以上	5件以上
環境配慮製品	使用割合(%)		化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		

活動の実績

①本社及び3工場合計

		2006年 (37期)	2010年 (41期)	2011年 (42期)	2012年 (43期)
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	2,048,626	1,696,908	1,542,410	1,429,254
	内訳 購入電力(kg-CO2/年)	1,410,845	1,162,814	1,170,520	1,203,520
	化石燃料(kg-CO2/年)	637,981	534,094	362,487	225,734
	生産量(トン)	11,139	11,391	14,384	18,717
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	183.9	149.0	107.2	76.4
廃棄物排出量	総量(トン/年)	310	85	44	61
	生産量(トン)	11,139	11,391	14,384	18,717
	生産量当たり	0.028	0.007	0.003	0.003
総排水量	総量(m3/年)	19,869	13,844	10,884	11,517
	生産量(トン)	11,139	11,391	14,384	18,717
	生産量当たり(m3/トン)	1.784	1.215	0.757	0.615
化学物質	総量(トン/年)		243	255	278
	生産量(トン/年)		11,391	14,384	18,717
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.021	0.018	0.015
グリーン購入	件数(件/年)		3	6	9
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の認証材総量(トン/年)		601	351	878
	化粧ばり造作用集成材用の原材料総量(トン/年)		2,434	1,005	2,394
	認証材使用割合(%)		24.7%	34.9%	36.7%

②本社・新住工場

		2006年 (37期)	2010年 (41期)	2011年 (42期)	2012年 (43期)
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	612,131	507,937	575,408	555,466
	内訳 購入電力(kg-CO2/年)	486,774	445,002	503,070	480,678
	化石燃料(kg-CO2/年)	125,357	62,935	62,935	74,788
	生産量(トン)	2,373	1,450	3,240	3,208
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	258.0	350.3	177.6	173.2
廃棄物排出量	総量(トン/年)	24	19	21	28
	生産量(トン)	2,373	1,450	3,240	3,208
	生産量当たり	0.010	0.013	0.006	0.009
総排水量	総量(m3/年)	6,963	4,158	4,681	4,774
	生産量(トン)	2,373	1,450	3,240	3,208
	生産量当たり(m3/トン)	2.934	2.868	1.445	1.468
化学物質	総量(トン/年)		21,220	25,000	21,560
	生産量(トン/年)		1,450	3,240	3,208
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.015	0.008	0.007
グリーン購入	件数(件/年)		1	2	3
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の認証材総量(トン/年)		601	351	878
	化粧ばり造作用集成材用の原材料総量(トン/年)		2434	1005	2394
	認証材使用割合(%)		24.7%	34.9%	36.7%

③田原本工場

		2006年 (37期)	2010年 (41期)	2011年 (42期)	2012年 (43期)
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	565,989	469,192	444,454	454,697
	内訳 購入電力(kg-CO2/年)	514,156	430,536	399,506	416,600
	化石燃料(kg-CO2/年)	51,833	38,656	44,988	38,097
	生産量(トン)	6,899	6,818	6,679	7,944
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	82.0	68.8	66.6	57.2
廃棄物排出量	総量(トン/年)	283	62	18	29
	生産量(トン)	6,899	6,818	6,679	7,944
	生産量当たり	0.041	0.009	0.003	0.004
総排水量	総量(m3/年)	7,829	5,235	3,300	3,658
	生産量(トン)	6,899	6,818	6,679	7,944
	生産量当たり(m3/トン)	1.135	0.768	0.494	0.460
化学物質	総量(トン/年)		178.1	185.6	220.97
	生産量(トン/年)		6,818	6,679	7,944
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.026	0.028	0.028
グリーン購入	件数(件/年)		1	2	3
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の認証材総量(トン/年)		0.000	0.000	0.000
	化粧ばり造作用集成材用の原材料総量(トン/年)		0.000	0.000	0.000
	認証材使用割合(%)		---	---	---

④五條工場

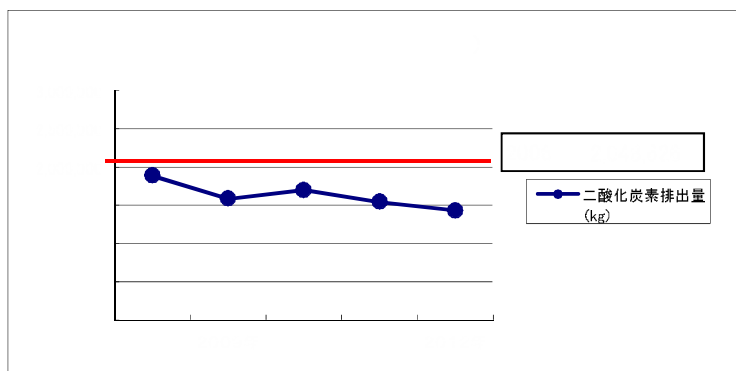
		2006年 (37期)	2010年 (41期)	2011年 (42期)	2012年 (43期)
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	870,506	719,780	522,508	419,092
	内訳 購入電力(kg-CO2/年)	409,715	287,276	267,944	306,243
	化石燃料(kg-CO2/年)	460,791	432,504	254,564	112,849
	生産量(トン)	1,867	3123	4465	7,565
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	466.3	230.5	117.0	55.4
廃棄物排出量	総量(トン/年)	3.3	3.5	5.8	3.70
	生産量(トン)	1,867	3123	4465	7,565
	生産量当たり	0.002	0.001	0.001	0.000
総排水量	総量(m3/年)	5,077	4,451	2,903	3,085
	生産量(トン)	1,867	3123	4465	7,565
	生産量当たり(m3/トン)	2.719	1.425	0.650	0.408
化学物質	総量(トン/年)		44.160	44.220	35.880
	生産量(トン/年)		3123	4465	7,565
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.014	0.010	0.005
グリーン購入	件数(件/年)		1	2	3
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の認証材総量(トン/年)		0.000	0.000	0.000
	化粧ばり造作用集成材用の原材料総量(トン/年)		0.000	0.000	0.000
	認証材使用割合(%)		---	---	---

※二酸化炭素排出量算定の排出係数： 購入電力 0.378(kg-CO2/kWh) 灯油0.0679(kg-CO2/MJ) 液化石油ガス0.0598(kg-CO2/MJ) ガソリン0.0671(kg-CO2/MJ) 軽油0.0687(kg-CO2/MJ) (以降同様)

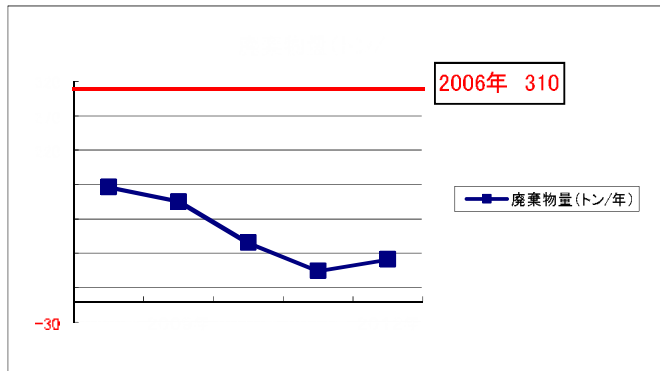
・実績の経過グラフ(CO2、廃棄物量、総排水量)

本社及び3工場(新住工場、田原本工場、五條工場)の合計量

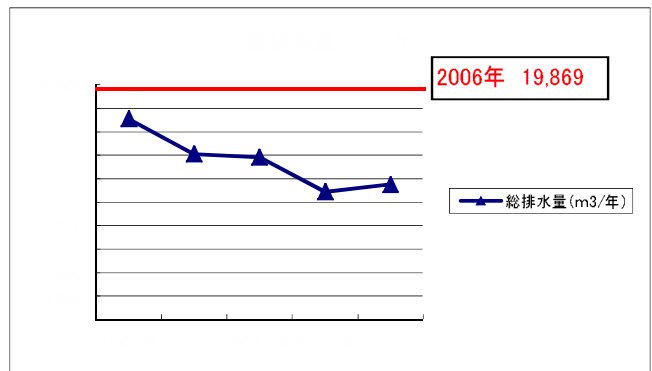
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
二酸化炭素排出量(kg)	1,888,000	1,586,807	1,696,908	1,542,410	1,429,254



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
廃棄物量(トン/年)	166	145	85	44	61

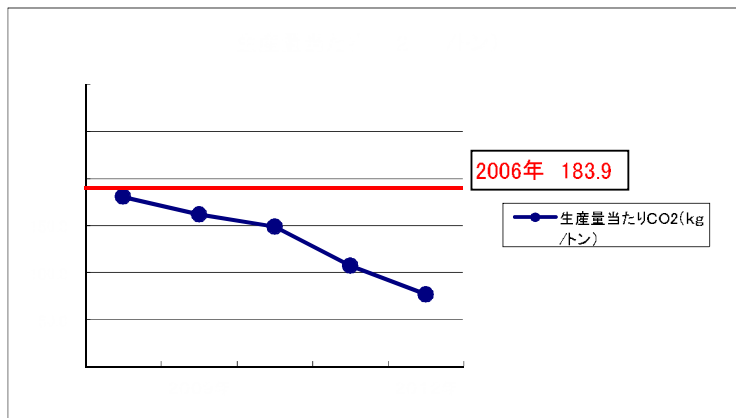


	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
総排水量(m3/年)	17,120	14,102	13,844	10,884	11,517

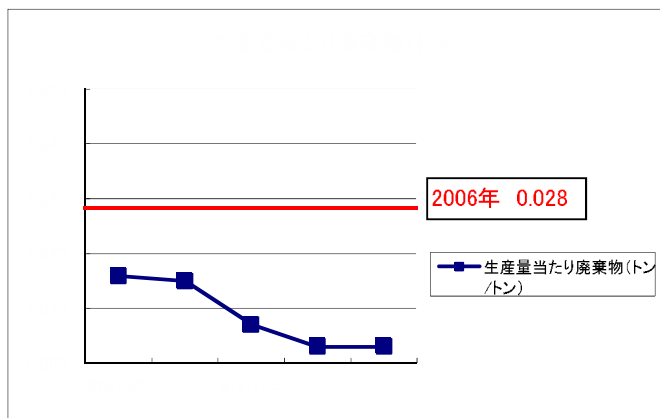


本社及び3工場(新住工場、田原本工場、五條工場)の生産量あたりの排出量

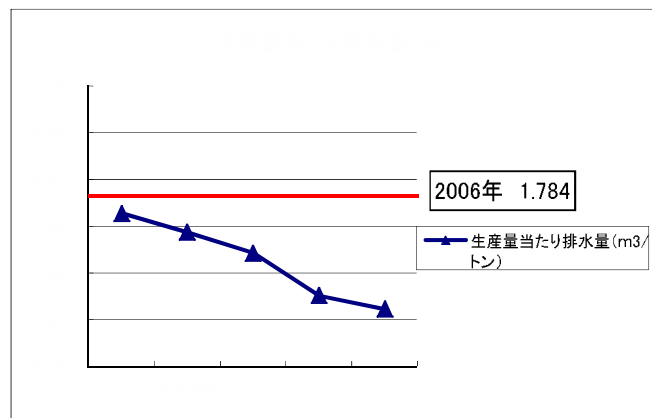
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
生産量当たりCO2(kg/トン)	180.6	161.9	149.0	107.2	76.4



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
生産量当たり廃棄物(トン/トン)	0.016	0.015	0.007	0.003	0.003



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
生産量当たり排水量(m3/トン)	1.638	1.438	1.215	0.757	0.615



4. 環境目標の達成評価

① 本社及び3工場合計

①本社及び3工場合計		(基準)				評価	
		2006年 (37期)	2012年 目標	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	2,048,626		1,429,254	総量において、目標達成 生産量当りの排出量におい ても目標達成	◎	
	基準に対する削減率(%)		28.5%	30.2%			
	生産量(トン)	11,139		18,717			
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	183.9		76.4			
	基準に対する削減率(%)			58.5%			
廃棄物排出量	総量(トン/年)	310		61	総量において、目標未達 生産量当りの排出量におい ても目標達成	△	
	基準に対する削減率(%)		87.3%	80.3%			
	生産量(トン)	11,139		18,717			
	生産量当たり	0.028		0.003			
	基準に対する削減率(%)			88.3%			
総排水量	総量(m3/年)	19,869		11,517	総量において、目標未達 生産量当りの排出量におい ても目標達成	△	
	基準に対する削減率(%)		47.1%	42.0%			
	生産量(トン)	11,139		18,717			
	生産量当たり(m3/トン)	1.8		0.6			
	基準に対する削減率(%)			65.5%			
化学物質	総量(トン/年)	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		278	生産量当たり使用量が 前年比減、2009年比減	◎	
	生産量(トン/年)			18,717			
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.015			
グリーン購入	件数(件/年)		9件	9件(以上)	目標達成	◎	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集成材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上		878	目標達成	◎	
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)			2394			
	認証材使用割合(%)			36.7%			

③ 田原本工場

③ 田原本工場		(基準)				評価	
		2006年 (37期)	2012年 目標	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	565,989		454,697	総量において、目標未達 生産量当りの排出量におい て目標達成	△	
	基準に対する削減率(%)		24.0%	19.7%			
	生産量(トン)	6,899		7,944			
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	82.0		57.2			
	基準に対する削減率(%)			30.2%			
廃棄物排出量	総量(トン/年)	283.00		29.3	総量において、目標未達 生産量当りの排出量におい ても目標未達	×	
	基準に対する削減率(%)		94.0%	89.7%			
	生産量(トン)	6,899		7,944			
	生産量当たり	0.04		0.00			
	基準に対する削減率(%)			91.0%			
総排水量	総量(m3/年)	7,829		3,658	総量において、目標未達 生産量当りの排出量におい ても目標達成	△	
	基準に対する削減率(%)		57.9%	53.3%			
	生産量(トン)	6,899		7,944			
	生産量当たり(m3/トン)	1.13		0.46			
	基準に対する削減率(%)			59.4%			
化学物質	総量(トン/年)	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		220.97	生産量当たり使用量が 前年と同じであるが2009年 より数字が悪い	△	
	生産量(トン/年)			7,944			
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.028			
グリーン購入	件数(件/年)		3件	3件	目標達成	◎	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集成材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上		---	(該当製品の製造なし)	---	
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)			---			
	認証材使用割合(%)			---			

② 本社・新住工場

②本社・新住工場		(新基準)				評価	
		2006年 (37期)	目標	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	612,131		555,466	総量において、目標未達 生産量当りの排出量において 目標達成	△	
	基準に対する削減率(%)		15.0%	9.3%			
	生産量(トン)	2,373		3,208			
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	258.0		173.2			
	基準に対する削減率(%)			32.9%			
廃棄物排出量	総量(トン/年)	24		27.7	総量において、目標未達 生産量当りの排出量において も目標未達	×	
	基準に対する削減率(%)		20.0%	-13.6%			
	生産量(トン)	2,373		3,208			
	生産量当たり	0.010		0.009			
	基準に対する削減率(%)			15.9%			
総排水量	総量(m3/年)	6,963		4,774	総量において、目標未達 生産量当りの排出量において 目標達成	△	
	基準に対する削減率(%)		38.0%	31.4%			
	生産量(トン)	2,373		3,208			
	生産量当たり(m3/トン)	2,934		1,488			
	基準に対する削減率(%)			49.3%			
化学物質	総量(トン/年)	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		21.56	生産量当たり使用量が 前年比減、2009年比減	◎	
	生産量(トン/年)			3,208			
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.007			
グリーン購入	件数(件/年)		3件	3件以上	目標達成	◎	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集成材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上		878	目標達成	◎	
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)			2394			
	認証材使用割合(%)			36.7%			

④ 五條工場

④五條工場		(基準)					
		2006年	2012年		評価		
		(37期)	目標	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	870,506		419,092	総量において、目標達成 生産量当りの排出量におい ても目標達成	◎	
	基準に対する削減率(%)		41.0%	51.9%			
	生産量(トン)	1,867		7,565			
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	466.26		55.40			
	基準に対する削減率(%)			88.1%			
廃棄物排出量	総量(トン/年)	3.30		3.70	総量において、目標未達 生産量当りの排出量におい ても目標達成	△	
	基準に対する削減率(%)		0.5%	-12.1%			
	生産量(トン)	1,867		7,565			
	生産量当たり	0.0018		0.0005			
	基準に対する削減率(%)			72.3%			
総排水量	総量(m3/年)	5,077		3,085	総量において、目標未達 生産量当りの排出量におい ても目標達成	△	
	基準に対する削減率(%)		42.9%	39.2%			
	生産量(トン)	1,867		7,565			
	生産量当たり(m3/トン)	2.72		0.41			
	基準に対する削減率(%)			85.0%			
化学物質	総量(トン/年)	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		35.88	生産量当たり使用量が 前年比減、2009年比減	◎	
	生産量(トン/年)			7,565			
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.005			
グリーン購入	件数(件/年)		3件	3件	目標達成	◎	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集成材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上		---	(該当製品の製造なし)	-- --	
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)			---			
	認証材使用割合(%)			---			

※二酸化炭素排出量算定の排出係数： 購入電力 0.378(kg-CO2/kWh) 灯油0.0679(kg-CO2/MJ) 液化石油ガス0.0598(kg-CO2/MJ) ガソリン0.0671(kg-CO2/MJ) 軽油0.0687(kg-CO2/MJ) (以降同様)

5-1. 本社・新住工場（目標対比：2006年度）

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																					
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 6.5%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ※本社・新住工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2011年度 約87.4%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。	○多品種少量生産に対応すべく 切替時間の短縮を図る。 ○工場の照明の一部にLED照明を導入	削減目標 6.5% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1287760</td><td>1271634</td><td>1.3%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>486773.3</td><td>480678</td><td>1.3%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>2373</td><td>3208</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>205.1</td><td>149.8</td><td>27.0%</td></tr></table> 一昨年新規設備導入した設備の稼働が増えたため目標未達となった。 生産量あたりの二酸化炭素排出量は昨年より改善しています。	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1287760	1271634	1.3%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	486773.3	480678	1.3%	生産量(t)	2373	3208		二酸化炭素排出量/生産量	205.1	149.8	27.0%	○購入電力/生産量だけでなく、 購入電力による二酸化炭素排出量の総量に おいても目標を達成できるよう生産性を追及していく。 ○照明の省エネの拡大を検討																	
	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																						
購入電力(kwh)	1287760	1271634	1.3%																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	486773.3	480678	1.3%																																							
生産量(t)	2373	3208																																								
二酸化炭素排出量/生産量	205.1	149.8	27.0%																																							
	化石燃料削減 目標 47.8%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○電気式フォークリフトへの入替	○燃費の測定と運転手への省エネ運転の励行。 ○電気式フォークリフト1台入替導入	削減目標 47.8% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>125357</td><td>74788</td><td>40.3%</td></tr><tr><td>売上高(万円)</td><td>250187</td><td>148948</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/売上高</td><td>0.50</td><td>0.50</td><td>-0.2%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	125357	74788	40.3%	売上高(万円)	250187	148948		二酸化炭素排出量/売上高	0.50	0.50	-0.2%	○更なる省エネ運転・効率配送を目指し 改善に努める。																					
項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	125357	74788	40.3%																																							
売上高(万円)	250187	148948																																								
二酸化炭素排出量/売上高	0.50	0.50	-0.2%																																							
廃棄物削減	再資源化による推進 目標 20.0%	廃棄物の分別・再資源化 ○ダンボール ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 ○機密文書の再資源化	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○輸入梱包材の木パレットを 釘のない部分を切断し、再資源化 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 ○事務書類を業者に破砕処理し、 再生紙原料にする。	削減目標 20.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="6">廃棄物</td><td>事務所(紙)</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>工場(ダンボール)</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>4.05</td><td>0</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td>20.4</td><td>27.73</td><td>-35.9%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>24.4</td><td>27.73</td><td>-13.6%</td></tr><tr><td>生産量</td><td>2373</td><td>3208</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物量/生産量</td><td>0.010</td><td>0.009</td><td>15.9%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません 今期は出先関連部門の整理により廃棄物量が増加しましたが 生産量あたりの排出量は昨年より改善しています。	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	廃棄物	事務所(紙)	0	0		工場(ダンボール)	0	0		工場(鉄)	0	0		廃プラ	4.05	0	100.0%	工場関連(その他)	20.4	27.73	-35.9%	廃棄物計	24.4	27.73	-13.6%	生産量	2373	3208		廃棄物量/生産量	0.010	0.009	15.9%	○今まで資源化出来ていなかった物について 再度見直しを検討し削減に努める。
項目(単位:t)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																							
廃棄物	事務所(紙)	0	0																																							
	工場(ダンボール)	0	0																																							
	工場(鉄)	0	0																																							
	廃プラ	4.05	0	100.0%																																						
	工場関連(その他)	20.4	27.73	-35.9%																																						
	廃棄物計	24.4	27.73	-13.6%																																						
生産量	2373	3208																																								
廃棄物量/生産量	0.010	0.009	15.9%																																							
総削減水量 目標 38.0%	○ボイラーの給水装置の改善 ○事務所節水の徹底	ボイラーの燃料の木屑を再利用に回し、 余分な蒸気が発生させない様にする。	削減目標 38.0% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>6963</td><td>4771</td><td>31.5%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>2373</td><td>3208</td><td></td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m³/t)</td><td>2.9</td><td>1.5</td><td>49.3%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	総排水量(m)	6963	4771	31.5%	生産量(t)	2373	3208		総排水量/生産量(m ³ /t)	2.9	1.5	49.3%	○ボイラーの効率運転に努める。 ○事務所の節水を徹底し、削減に努める。																						
項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																							
総排水量(m)	6963	4771	31.5%																																							
生産量(t)	2373	3208																																								
総排水量/生産量(m ³ /t)	2.9	1.5	49.3%																																							
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>20.28</td><td>21.56</td><td></td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>1250</td><td>3208</td><td></td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/m3)</td><td>0.016</td><td>0.007</td><td>58.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	20.28	21.56		生産量(トン/年)	1250	3208		生産量当たり使用量(t/m3)	0.016	0.007	58.6%	○現状の運用を維持する。																						
項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																							
総量(トン/年)	20.28	21.56																																								
生産量(トン/年)	1250	3208																																								
生産量当たり使用量(t/m3)	0.016	0.007	58.6%																																							
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 2件 実績 3件(以上) 活動の評価 ◎	○認証木材購入の継続に努める。 ○現状の運用を継続する。																																						
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	化粧ばり造作用集成材の原材料発注に際し 認証材の購買を検討する。	化粧ばり造作用集成材の原材料にお いて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td></td><td>878</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td></td><td>2394</td><td></td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td></td><td>36.7%</td><td></td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		878		化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		2394		認証材使用割合(%)		36.7%		○認証木材購入の継続に努める。																						
項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																							
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		878																																								
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		2394																																								
認証材使用割合(%)		36.7%																																								

5-2. 田原本工場(目標対比:2006年度)

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																				
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 24.8%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ○電灯の効率利用を図る ※田原本工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2011年度 約91.8%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	削減目標 24.8% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1360201</td><td>1102115</td><td>19.0%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>514156</td><td>416600</td><td>19.0%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>6899</td><td>7944</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>74.5</td><td>52.4</td><td>29.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1360201	1102115	19.0%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	514156	416600	19.0%	生産量(t)	6899	7944		二酸化炭素排出量/生産量	74.5	52.4	29.6%	○生産体制を見直し、購入電力削減に努める。 ○照明の省エネを検討																
	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																					
購入電力(kwh)	1360201	1102115	19.0%																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	514156	416600	19.0%																																						
生産量(t)	6899	7944																																							
二酸化炭素排出量/生産量	74.5	52.4	29.6%																																						
	化石燃料削減 目標 16.0%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○電気式フォークリフトの採用	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示 ○電気式フォークリフト1台導入	削減目標 16.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>51833</td><td>38097</td><td>26.5%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>6899</td><td>7944</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>7.51</td><td>4.80</td><td>36.2%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	51833	38097	26.5%	生産量(t)	6899	7944		二酸化炭素排出量/生産量	7.51	4.80	36.2%	○更なる省エネ運転を目指す。																				
項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	51833	38097	26.5%																																						
生産量(t)	6899	7944																																							
二酸化炭素排出量/生産量	7.51	4.80	36.2%																																						
廃棄物削減	再資源化による推進 目標 94.0%	廃棄物を分別・再資源化 ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 ○焼却炉での木屑の単純焼却量を廃止した。	削減目標 94.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="4">廃棄物</td><td>木材(プレナー屑)</td><td>252.6</td><td>0.0</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>30.4</td><td>0</td><td>3.8%</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td></td><td>29.3</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">廃棄物計</td><td>283</td><td>29.3</td><td>89.7%</td></tr><tr><td colspan="2">生産量</td><td>6899</td><td>7944</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">廃棄物量/生産量</td><td>0.041</td><td>0.004</td><td>91.0%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物は工場関連(その他)に含まれています。	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	廃棄物	木材(プレナー屑)	252.6	0.0	100.0%	工場(鉄)		0		廃プラ	30.4	0	3.8%	工場関連(その他)		29.3		廃棄物計		283	29.3	89.7%	生産量		6899	7944		廃棄物量/生産量		0.041	0.004	91.0%	○木材(プレナー屑)のリサイクルを さらに推し進める。
	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																					
廃棄物	木材(プレナー屑)	252.6	0.0	100.0%																																					
	工場(鉄)		0																																						
	廃プラ	30.4	0	3.8%																																					
	工場関連(その他)		29.3																																						
廃棄物計		283	29.3	89.7%																																					
生産量		6899	7944																																						
廃棄物量/生産量		0.041	0.004	91.0%																																					
総削減水量 目標 57.9%	○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底	○夏・冬で蒸気配管バルブの開閉を見直し実施 ○ボイラーの運転時間を夏・冬で見直し実施 ○人工乾燥に使用していた蒸気をボイラーの 給水タンクにもどす	削減目標 57.9% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>7829</td><td>3658</td><td>53.3%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>6899</td><td>7944</td><td></td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m/t)</td><td>1.1</td><td>0.5</td><td>59.4%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	総排水量(m)	7829	3658	53.3%	生産量(t)	6899	7944		総排水量/生産量(m/t)	1.1	0.5	59.4%	○焼却炉の燃焼量を少なくして 使用水量を削減する。																					
項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																						
総排水量(m)	7829	3658	53.3%																																						
生産量(t)	6899	7944																																							
総排水量/生産量(m/t)	1.1	0.5	59.4%																																						
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>177.8</td><td>220.97</td><td></td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>6500</td><td>7944</td><td></td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/m3)</td><td>0.027</td><td>0.028</td><td>-1.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	177.8	220.97		生産量(トン/年)	6500	7944		生産量当たり使用量(t/m3)	0.027	0.028	-1.7%	○現状の運用を維持する。																					
項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																						
総量(トン/年)	177.8	220.97																																							
生産量(トン/年)	6500	7944																																							
生産量当たり使用量(t/m3)	0.027	0.028	-1.7%																																						
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	<table><tr><td>目標 2件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 3件</td></tr></table>	目標 2件	活動の評価 ◎	実績 3件	○現状の運用を継続する。																																		
目標 2件	活動の評価 ◎																																								
実績 3件																																									
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	該当製品の製造なし	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td></td><td>――</td><td></td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0		化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0		認証材使用割合(%)		――		○2012年度は対象製品の生産はありませんでした。																					
項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																																						
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0																																							
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0																																							
認証材使用割合(%)		――																																							

5-3. 五條工場（目標対比：2006年度）

PLAN		DO	CHECK	ACTION																												
二酸化炭素排出量削減	購入削減電力 目標 35.7%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ※五條工場では二酸化炭素排出量における購入電力の割合は約51.3% (2011年度)	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	削減目標 35.7% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1083903</td><td>810167</td><td>25.3%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>409715</td><td>306243</td><td>25.3%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>1867</td><td>7565</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>219.5</td><td>40.5</td><td>81.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1083903	810167	25.3%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	409715	306243	25.3%	生産量(t)	1867	7565		二酸化炭素排出量/生産量	219.5	40.5	81.6%	○各生産設備の生産性を上げることで 生産量あたりの二酸化炭素排出量を削減する。 ○照明の省エネを検討							
	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																												
購入電力(kwh)	1083903	810167	25.3%																													
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	409715	306243	25.3%																													
生産量(t)	1867	7565																														
二酸化炭素排出量/生産量	219.5	40.5	81.6%																													
化石燃料削減 目標 54.3%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○電気式フォークリフトの入替導入 人工乾燥の効率化を図る。	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示 ○電気式フォークリフト2台入替導入 ○灯油ボイラーによる人工乾燥方法の変更を検討	削減目標 54.3% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>460791</td><td>112849</td><td>75.5%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>1867</td><td>7565</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>246.81</td><td>14.92</td><td>94.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	460791	112849	75.5%	生産量(t)	1867	7565		二酸化炭素排出量/生産量	246.81	14.92	94.0%	○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラーの灯油使用量を削減する。												
項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																													
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	460791	112849	75.5%																													
生産量(t)	1867	7565																														
二酸化炭素排出量/生産量	246.81	14.92	94.0%																													
廃棄物削減	再資源別化による推進 目標 0.5%	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 事務所関連廃棄物の削減	削減目標 0.5% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物 廃プラ</td><td>3.3</td><td>0</td><td>-12.1%</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td></td><td>3.7</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>3.3</td><td>3.7</td><td>-12.1%</td></tr><tr><td>生産量</td><td>1867</td><td>7565</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物量/生産量</td><td>0.0018</td><td>0.0005</td><td>72.3%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません (補足説明) 基準年(2006年)の廃棄物排出量は本来2006年度に 排出されるはずの廃棄物4.26tが2007年に処理された為、 本来より低い数値となっている。	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	工場(鉄)		0		廃棄物 廃プラ	3.3	0	-12.1%	工場関連(その他)		3.7		廃棄物計	3.3	3.7	-12.1%	生産量	1867	7565		廃棄物量/生産量	0.0018	0.0005	72.3%	○来期はパレット等工場関連廃棄物の 資源化を進める。
	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																												
工場(鉄)		0																														
廃棄物 廃プラ	3.3	0	-12.1%																													
工場関連(その他)		3.7																														
廃棄物計	3.3	3.7	-12.1%																													
生産量	1867	7565																														
廃棄物量/生産量	0.0018	0.0005	72.3%																													
総削減水量 目標 42.9%	○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底 ※五條工場ではラミナ(製品を構成する板)を乾燥するためのボイラーに水を使用している。 (※ラミナとは製品を構成する板材のこと)	○水道水使用量を毎月確認する。	削減目標 42.9% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>5077</td><td>3085</td><td>39.2%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>1867</td><td>7565</td><td></td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m/t)</td><td>2.7193</td><td>0.4078</td><td>85.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	総排水量(m)	5077	3085	39.2%	生産量(t)	1867	7565		総排水量/生産量(m/t)	2.7193	0.4078	85.0%	○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラー使用水の削減する。 ○人工乾燥時の木屑焚きボイラーの蒸気を 効率運用する。												
項目(単位)	2006年 (37期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																													
総排水量(m)	5077	3085	39.2%																													
生産量(t)	1867	7565																														
総排水量/生産量(m/t)	2.7193	0.4078	85.0%																													
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2012年 (43期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>44.24</td><td>35.88</td><td></td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>2054</td><td>7565</td><td></td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/m3)</td><td>0.022</td><td>0.005</td><td>78.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	44.24	35.88		生産量(トン/年)	2054	7565		生産量当たり使用量(t/m3)	0.022	0.005	78.0%	○現状の運用を維持する。												
項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)	削減率 (%)																													
総量(トン/年)	44.24	35.88																														
生産量(トン/年)	2054	7565																														
生産量当たり使用量(t/m3)	0.022	0.005	78.0%																													
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 2件 実績 3件 活動の評価 ◎	○現状の運用を継続する。																												
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	該当製品の製造なし	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2012年 (43期)</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td></td><td>---</td><td></td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)		化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0		化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0		認証材使用割合(%)		---		2010年度は対象製品の生産はありませんでした。												
項目(単位)	2009年 (40期)	2012年 (43期)																														
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0																														
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0																														
認証材使用割合(%)		---																														

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する環境関連法規は次の通りです

①本社・新住工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	焼却炉	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
ダイオキシン類対策特別措置法	焼却炉	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
NOxPM法	トラック	○

②田原本工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
ダイオキシン類対策特別措置法	焼却炉	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
NOxPM法	トラック	○

③五條工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
NOxPM法	トラック	○

過去3年間、関係当局より違反の指摘はありません。
環境関連法規について自主的に見直した結果、不備はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境マネジメントシステムのプロセスは定着している。

2012年度の対象組織全体の活動結果は二酸化炭素排出量は目標達成、廃棄物と排水量は目標未達となっています。

廃棄物の増加は生産によるものではなく、3Sの成果と受け止めています。

来期は対象組織を営業部署にも拡大し、全社で活動を始めます。今後も少しずつでも前進できるよう地道な活動をしてまいります。

平成25年2月15日 代表取締役社長 貝本 隆三

次回の環境レポートは平成26年3月の予定です。